

～元気の出るエピソード～

3階病棟に入院していた患者さんのエピソードです。悪夢が続き、うなされ精神状態が悪化していた患者さんでした。内服薬と日中の活動、対応方法を入院時からすぐに見直しました。本人が編み物や手先を使った作業が好きなることを把握し、日中行えるようにリハビリ・病棟スタッフが声を掛けていきました。入院間もなくして、表情が明るくなっていき、他の患者さんやスタッフと会話する姿が多くなっていきました。入院後2か月弱で退院され、退院時には「スタッフがみないいい人で、おかげさまで心が温まりました。」と話されていました。

退院後も、元気なお手紙を頂きます。入院中に行っていたバッグの作成方法をもう一度教えてほしい、今も元気に過ごしているなどの手紙や年賀状も頂きました。

当院の病院方針の中に「寄り添うこと・かかわることをも治療とします」があります。患者さんの早期症状緩和・笑顔の増大を目指し私たちが何をすべきかをスタッフと今後も話し合っていきたいと思えます。

副看護部長 井上 和子

診もり短歌



くやや頬こけし 好きばあばの笑顔
頬こけて言葉少なな老女とて
笑顔に らしさ残しおるなり
Dr ねぎし

医療法人社団 心の絆

認知症専門病院 蓮田よつば病院

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→



私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくりたい

よつば通信 2月号

発行日 令和2年2月15日

ご家族の皆様へ

立春を過ぎると、春の花の便りが待ち遠しくなります。インフルエンザの季節が、無事過ぎようとしています。ご家族の皆様には、面会を制限させていただいたまま、令和2年を迎えることになり、ご心配をおかけします。

今年はいちげんげん生誕200年、私共看護に携わる者にとつては記念すべき年。もちろん、東京で2回目のオリンピック・パラリンピックの年。当院顧問である五島シヅ先生は、92歳の最高齢の聖火ランナーに決まりました。看護スタッフの相談や家族会のアドバイザーをしていただいています。ナイチンゲールの灯が五島先生を通して、現在の私たちにも受け継がれているようで、とても誇りに思います。オリンピック・パラリンピックの開幕が一層楽しみになりました。

五島先生の元気の秘訣は何でしょう。認知症看護に寄せ続ける熱い思い、ダンス、おしゃべり、おしゃべり、好奇心。つまり、いつも楽しそうに人と接しておられます。

家で、テレビを見て過ごすのもいいです。誰かと一緒にの食事やおしゃべりは、もっと素敵な笑顔になれそうです。

今年、職場・家庭のテレビやパブリックビューイングに、家族・友人にかかわらず、みんなで集まって、大声で選手を応援しませんか。せつかくの人生2度目の東京オリンピック・パラリンピック。可能性への挑戦を今度はいっかりと見届けたいです。56年前の同じ瞬間を重ねるようにして。

看護部長 中野 潤子

外来案内

診療科目	月	火	水	木	金	土
午前 認知症 外来	鈴木	安西	安西	鈴木	鈴木・安西 (隔週)	休診
	根岸		一木 (2/12, 2/26のみ)			
一般 内科	白濱		白濱			
午後(新患のみ)		鈴木		安西		休診

病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～
お電話での予約が必要になります

- ・紹介状
 - ・お薬手帳をご持参ください。
- 予約時間の変更等につきましては、13時以降に外来にお電話下さい
○休診日○
土曜・日曜・祝日は休診になります

感染委員長よりお知らせ

現在新型コロナウイルスが日本国内に持ち込まれ、国内での流行が懸念されています。当院での感染防止の観点から引き続き面会を制限させていただきます。面会制限が解除となりましたら、電話にてご連絡いたしますのでよろしくお願い致します。

～よつばご飯～

- 1月1日
- ・紅白かまぼこご飯
 - ・豚の角煮
 - ・菊花蕪
 - ・栗きんとん
 - ・昆布巻き
 - ・お吸い物



※写真は職員食になります。

お正月になるとどのご家庭でもたくさんのご馳走が食卓に並ぶのではないのでしょうか。当院でも、患者様が出来る限り普段通りに近い生活ができるよう、お正月には普段よりも華やかな食事を提供させていただいております。今回はその一部をご紹介します。よろしくお願いいたします。

管理栄養士 水野俊

蓮田よつば病院 当院は認知症専門の病院です
〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込2163番地
電話:048-765-7777

医療法人社団 心の絆
よつば訪問看護リハビリステーション
電話:048-796-5157

蓮田よつば病院
ディケアわかば

蓮田市 毎月第一土曜日
認知症カフェ
はすカフェ
蓮田よつば病院 1Fフロアにて実施



看護部の取り組み

10年表彰を受けて

10年間の思い出とこれから

平成22年2月1日に入職して11年になりました。病院理念の「私たちは大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくります」に共感した仲間と共に歩んで参りました。今日迄、一緒に過ごしてきた患者様との感動と感謝の思い出は数えきれない程あります。

その中で、平成22年7月23日「身体拘束を全面廃止します!」との院長発令は、大きな出来事でした。当時、身体拘束についてモヤモヤした気持ちでいた私達にとって、この明快な決断は、新たなケアの方向を示してくれました。

大変ではありましたが、とても意義深い、遣り甲斐のあることで、看護師、介護士と協働で頑張っていました。拘束禁止に伴い、個別ケアの大切さや責任の重さを感じながらも、患者様にとって何が一番大切かを考え、いつも寄り添い前向きに努力して参りました。

そんな中夜勤に就いた時の体験をお話します。脱衣行為を繰り返す患者さんに、看護師が「つなぎを着せよう!」の発言。どうして?と疑問を持ちました。断固反対する私と議論の末、結果着用せずに済みました。

それは、患者さんの声が聴けたからこそです。どうして服を脱いでしまうの?『風呂に入りたい』とボソッとあまり話さない患者さんが小さく応えてくれました。そこで、身体を拭き、足を湯で温めると『気持ちがいい...』と。ベッドへ案内すると、そのまま朝迄ぐっすり眠られました。

議論した看護師は「自分の親が脱いでいたら恥ずかしい」という思いやりの気持ちからの発言でした。誰しも心に、自分の働く信条をそれぞれ持っているものです。彼の気持ちもわかり、互いに笑顔で夜勤明けの朝を迎える事ができました。

コミュニケーションは、患者さんの「話を聞いて欲しい、何をしたい、してほしい」を傾聴し、相手の思いを引き出す優しい言葉かけが重要です。真摯な態度で心をこめて...

当院は、この10年間に認知症ケア専門士が続々と誕生しています。学びをケアの実践に活かし、後輩育成にも繋げていきます。皆で患者様の「言葉にならない心の声」までを引き出せるように、更に頑張っていきたいと思えます。

二階病棟介護主任 岡田 佐知子



畠山英記さん、目縄忍さん、平園雅俊さん、大関聡子さん、岡田佐知子さん、富弘子さん、針ヶ谷夕美さん、佐々木隆樹さん、田嶋恵さん、折原美佐子さん
10年勤続ありがとうございます!
これからもよろしく願い致します!

看護部の新しい仲間

3階病棟看護師 森 有子

9月に入職し、早くも4ヶ月が過ぎました。認知症専門病院で働くのは初めての経験で、一般病院とは違う時間の流れを実感しています。その中でも一番実感できたのは、患者様の言葉を傾聴することです。一般病院でも看護計画に『傾聴』を上げますが、業務に追われて達成できていませんでした。

よつば病院では、コメディカル全体で関わり、情報を共有できる病院だと思います。私も早くその一部になれるよう日々努力していきます。

栄養科からのお知らせ

当院では入院患者様全員の身体状況等を確認し、それぞれに合った食事形態・内容を管理栄養士が判断して食事の提供を行っております。

当院での食事形態は、常食(普通食)、一口大刻み食、ソフト食、ペースト食、ゼリー食(ブリックゼリー・ハイカロリーゼリー)に分かれており、その中から患者様それぞれの身体状況にあった形態を選択して提供しております。また、患者様の飲み込み能力によっては水分に「とろみ」をつけて提供しております。

食事内容については、例えば、心疾患をお持ちの患者様には塩分量を、糖尿病をお持ちの方であればカロリーと塩分量を調整して提供します。食事量がなかなか増えない方や、栄養状態が悪い方(血液中のアルブミンという栄養状態を見る指標が低値である等)には、少量で高カロリーのゼリーを食事にプラスして提供します。褥瘡(床ずれ)が出来てしまった患者様には、皮膚の再生を促す微量元素とたんぱく質を多く含む特殊食品を提供しています。

今回は、「とろみ」の付け方についてご紹介させていただきます。最近では、ご家庭でもとろみを付けられる商品も販売されております。中には1回使用量ごとに分包されたものもあり、より簡単にとろみをつける事が出来ます。使い方は商品によって若干の差はありますが、コップ1杯の飲み物やお椀1杯の汁物(約150ml)に1包溶かすだけです。コツとしては、「だま」にならないよう、手早くかき混ぜて溶かす事です。2、3分時間をおくと安定してきますので、少し時間を置いてから再度よく混ぜてお飲みください。錠剤のお薬を飲むのが苦手な方も、水分にとろみを付けることで飲みやすくなる場合もあります。飲み物だけでなく、料理のとろみ付にも活用していただけます。

その他お食事についてのお困りごとがございましたら、外来にて管理栄養士による栄養相談を実施しております。詳しくは外来看護師にご相談ください。

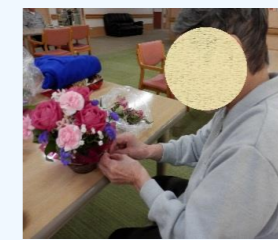


~よつば病院作業療法風景~

集団活動



作業活動



今月の予定

認知症予防塾は毎月第3土曜日
@蓮田よつば病院

- 誕生会 各病棟
2階、3階随時おこないます
- 理美容 第2・3木曜日
- 喫茶・節分会
2階 2/3(月) 3階 2/4(火)

感染症対策のため一部行事を中止させていただきます。ご了承ください。